



ネクステック、電源自給型可搬無線(WiFi)通信装置の市場投入計画を発表 ～電源の無い場所に簡単にネットワークを設置。試作機を公開～

「IT 関連事業を行う株式会社ネクステック(社長: 大石憲且、本社: 札幌市)」は、「電源自給型可搬無線(WiFi)通信装置」の試作機を完成し、市場投入計画を発表しました。「電源自給型可搬無線(WiFi)通信装置」は、電源の無い場所に無線(WiFi)ネットワークを簡単に構築することができる装置です。太陽光発電パネルと蓄電池を装備し、十分に充電されている条件下では、日照が無くとも5日間の連続稼働を可能としています。これまで、電源の確保が困難なために、ネットワークを利用できなかった農場や海上、山間部、イベント会場、建設現場、災害発生時のネットワークとして活用することができます。ネクステックでは、「電源自給型可搬無線(WiFi)通信装置」を展示会等で紹介し、実証実験を経て2012年年末に市場投入をする計画です。

電源自給型可搬無線(WiFi)通信装置は、平成23年度道産低炭素化製品開発促進事業の支援を受けて、「電源の無い場所に、ネットワークを！」をコンセプトに開発が進められました。このコンセプトを実現するにあたり、1)電源を自給(発電と蓄電)できること、2)一人でも運搬と設置ができる(可搬性がある)こと、3)メッシュネットワーク(※)を自律して構築できること(設定不要)の三つの特徴を同時に実現しました。また、無線通信部分は一般に無線LANで利用される通信規格IEEE802.11b/g/nに対応し、市販されている無線(WiFi)端末でこのネットワークを利用することができます。さらにソフトウェアを改良し、より省電力な装置とする工夫を取り入れています。これらの特徴により、整地や電源工事を必要とせずネットワークを構築し、継続して運用をすることを可能としました。

ネクステックでは、2012年5月24日(木)に、北海道立総合研究機構工業試験場が主催する、技術移転フォーラム2012「工業試験場」成果発表会(場所: 札幌ガーデンパレス)において、試作機を展示します。その後、実証実験を経て改良を重ね、2012年年末に電源自給型可搬無線(WiFi)を市場投入します。電源が無くネットワークを構築できなかった場所にネットワークを提供することで、産業面、市民生活面でのネットワーク活用の高度化、災害発生時の情報伝達の改善について貢献していきます。

※メッシュネットワーク

ネットワークを中継する機器が、網目状に接続されているネットワークのことです。電源自給型可搬無線(WiFi)通信装置は、接続距離内にある他の同装置を自動的に認識しメッシュネットワークを構築します。

[本件に関するお問合せ先]

株式会社ネクステック 伝法、高橋

Tel: 011-729-3711 (代表)

Fax: 011-729-3712

メール: info@tp.nextech.co.jp

会社概要及び電源自給型可搬無線(WiFi)通信装置の詳細については、裏面をご覧ください。

Nextech Co., Ltd. News Release

【会社概要】

名称: 株式会社ネクステック

所在地: 札幌市北区北 7 条西 5 丁目 8-1

北 7 条ヨシヤビル 8F

代表者: 大石 憲且

設立: 1997 年 11 月

事業内容: サーバ/ネットワークの運用、VPN 製品/サービスの
販売、システム/ネットワーク開発

資本金: 30 百万円

従業員数: 10 名

電話番号: 011-729-3711

電子メールアドレス: info@nextech.co.jp

Web サイトの URL

会社ホームページ www.nextech.co.jp

【電源自給型可搬無線(WiFi)通信装置の主な仕様・諸元(試作機)】

幅/高さ/奥行き	760mm / 630mm / 100mm(本体のみ)
重量	15kg 以下
通信距離	アクセス側: 約 100m(無指向/標準仕様) 中継側: 約 1,000m(指向性/高出力仕様)
通信プロトコル	アクセス側: IEEE802.11b/g/n 中継側: IEEE802.11g/n または j
電源	太陽光発電パネル及び蓄電池
連続稼働時間	原則無制限(無日照で約 5 日間)

【電源自給型可搬無線(WiFi)通信装置の外観】

※意匠登録済

正面図



太陽光発電パネル

背面図



チャージコントローラ
蓄電池を内蔵

設置例



アンテナ
(中継系・アクセス系)

以上